



杉並和泉学園だから実現できること～9・10月の教育活動より～

小学部 副学園長 吉田 健二

今年の2学期は18週間にもなり、終業式まで長い授業日が続きます。そんな長い2学期もいよいよ後半を迎えます。2学期は、例年通りとまではいかないものの、1学期に見合わせてきた活動も徐々に再開させながら、感染症対策と学習の保障の両立を図っています。2学期の前半の教育活動の中から、小中一貫校の「杉並和泉だから実現できる」と思える、「Communicate－かかわり－」のある場面を紹介します。

小学部スポーツフェスティバル・中学部体育競技会

今年の秋の体育的行事は、小学部は「スポーツフェスティバル」、中学部は「体育競技会」として実施しました。例年とは違い、小中学部の児童・生徒の交流活動は見合せざるを得ませんでしたが、「実施してよかった」と思える行事になるように、小中学部の教職員が協力し合いました。小学部のスポーツフェスティバルは、学年ごとの発表のため、運営を手伝う高学年の係児童もなく、小学部教員の数も足りず、競技の実施にあたっては中学部の教職員の力を借りました。また、中学部の体育競技会では、小学部の教職員が運営の手伝いをしたり、競技をする生徒へ熱い声援を送ったりしました。「小学部のときはこんな姿だった。」「中学部になり立派になった。」こんな会話が職員間で飛び交っていました。一つの職員室にいる小中の教職員が互いに協力し、9つの学年の子供たちの頑張りや成長を見守っています。

小学部教員体験

10月8日・9日の2日間、中学部8年生徒の小学部教員体験がありました。今年はコロナ禍により区内全中学校において、校外で実施する職場体験を見合せることとなった中、小中一貫校の特徴を生かして小学部教員の体験をすることになったものです。1・2年生の教室では、これまで学校生活のお世話をしてくれた6年生より、さらに年上のお兄さん・お姉さんたちが先生としてやってきてくれて、とても嬉しそうに接していました。また、5・6年生の教室では、担任の先生をしっかりサポートして勉強を教えてくれる8年生が、自分の2～3年後に「こんな姿になりたい」というロールモデルとなったようです。

また、小学部教員体験をした8年生の生徒のみなさんにとっても、「人に教えることの楽しさや難しさ」「責任を果たすことの大切さや充実感」等、多くを学んだことだと思います。教員志望者の減少が問題となる中、8年生の中から、将来小学校の先生を志す人が現れてほしいものです。

開園5周年記念集会

10月12日(月)児童・生徒の航空写真・集合写真を撮った後、開園5周年を記念する小学部代表委員、中学部生徒会主催の集会を、校庭で実施しました。小学部代表児童、中学部代表生徒の話は、とても立派な内容でした。特に、学園の教育目標の「3つのC」を意識したスピーチは、教職員、児童・生徒、保護者・地域が一体となって、これまでの5年間、杉並和泉学園を創りあげてきたことへの自負や、10周年に向けてよりよい杉並和泉学園を創りあげていこうとの決意が伝わってきました。3～4ページを是非お読みください。



今年度の学校経営の重点目標は、「Communicateの実現～小中一貫教育のよさを生かし、豊かにかかわる児童・生徒を育てる。～」です。2学期後半も教育活動の中の随所で、「杉並和泉学園だから実現できる豊かなかかわり」を創造していきます。

小学部

- 生活目標●

友達と仲よくしよう

- 安全目標●

不審電話の対応の仕方について
考えよう

中学部

- 生活目標●

よりよい人間関係を築こう

- 安全目標●

危機を予測し、安全に過ごそう

小中共通

- 保健目標●

心の健康を考えよう

- 給食目標●

食事のあいさつをきちんとう

中学部 体 育 競 技 会

10月3日(土)、秋晴れの穏やかな気候にも恵まれ、体育競技会が開催されました。2学期が始まってから、この日のために全学年が個人種目やリレー、9年生と5組は学年種目の練習を開始し、準備を進めてきました。

今年度は、体育の授業での練習が主となり、練習回数も限られていました。ですが、実行委員の生徒を中心に全員が競技に全力を尽くしていて、白熱した競技会となりました。



開会式



7年生

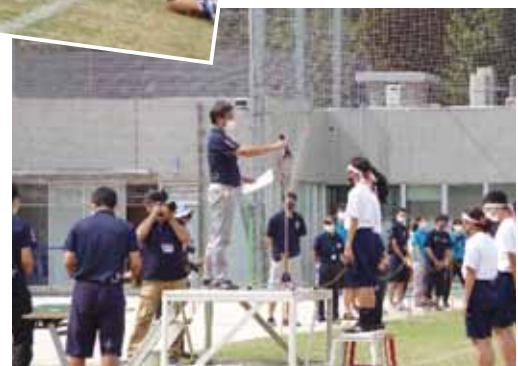
8年生



9年生



5組



閉会式

5周年 平成27年度 第1期卒業生からのお祝いメッセージ

杉並和泉学園開校5周年おめでとうございます。私の中学時代は、学校の変化とともにありました。

3年間での一番の思い出は、先生方との関わりです。私が在籍していた学年は人数が少なく、1クラスのみでクラスも30人弱でした。

体育のサッカーの授業では、人数が足りず、先生方にチームに入ってもらい、一緒にプレーをしました。休み時間に、先生とバドミントンをしたことも良い思い出です。

中学3年生になると、和泉中学校は杉並和泉学園へと変わりました。教室の外から小学生の声が聞こえるようになり、日常が以前よりも明るくなったように感じました。その年に行われた小中合同の運動会の、にぎわいと熱気で溢れていた光景は、今でも覚えています。

環境や時代が変化しても、あたたかくて、明るい杉並和泉学園が変わらずに続いていることを、そして今後ますます発展されることを心より祈っています。

10
12

小・中学部全員で開園5周年記念集会を行いました

※生徒会と代表委員会が企画・実施しました。代表5人の話を掲載いたします。

あいさつ

今年、杉並和泉学園は5周年を迎えます。今ここにいる児童・生徒全員で5周年のお祝いをすることができ、とてもうれしいです。

杉並和泉学園は、今から5年前の2015年に新泉小学校・和泉小学校・和泉中学校の三校が合併することによって誕生しました。当初は芝生もなく、児童・生徒も合わせて690人ほどでしたが、今では1000人以上もの人がこの校舎で共に学んでいます。

杉並和泉学園の校章の真ん中のマークは三校の児童・生徒が協力し合って一つになり、新たなものを生み出していくことが表現されていて、今の杉並和泉学園にぴったりなのではないでしょうか。これからも、学年を超えて、お互いに助け合いながら学園生活を送っていきましょう。

今の杉並和泉学園での楽しい学校生活の背景には、先生方やPTAのみなさん、地域の方々からの支えがあります。これらに感謝しながら、今よりももっと明るく笑顔のあふれる学園にしていきましょう。



あいさつ

杉並和泉学園5周年おめでとうございます。今日このようにして、5周年を迎えられとてもうれしいです。

私は杉並和泉学園ができた年に入学し、この新しい杉並和泉学園と共にたくさんの思い出をつくることができました。みなさんは、どんな思い出がありますか？運動会、スポーツフェスティバル、遠足、The新泉和泉学芸音楽会など、たくさんの思い出があると思います。そんなすてきな思い出をつくることができるのも、この広い校舎の中で、たくさんの人と関わることができているからです。広い芝生の校庭で過ごすことができることや、タブレット端末やプロジェクターなどで学ぶことができていることも、他の学校にはない魅力です。



また、今の1年生が6年生になる時に、学園は10周年を迎えます。10周年の時には、もっと、魅力が増え、楽しい学園になっているといいなと思います。そのためにも、これからもこの学園の魅力を生かして楽しい思い出をつくっていきましょう。

Challenge

Challenge挑戦、Communicate関わり、Create創造。みなさんこれが何のことか分かりますよね。この学園の教育目標です。

私は3つのCの1つ目の「Challenge・ひたむきに挑戦する」について話します。まずはマークについてです。これにはなぜ上向きの矢印が描いてあるのでしょうか。私は、ひたむきに挑戦し続けることで人は成長でき、さらに上へと進歩していくことをこの矢印は表しているのだと思います。

なぜ私がこのように考えることができたのかというと、私も学園が開校してから5年間、様々なことにChallengeしてきたからです。



例えば私が思いつく1番はじめの大きなChallengeは5年生のときに代表委員会に立候補したことです。それが起点となって5・6年で代表委員、中学部で生徒会を経験してきています。その過程に、大勢の人の前で話すChallengeをしたり、学園のために何ができるか考え、実行に移すChallengeをしてきました。それが今は自分の力と自信に繋がっています。

この教育目標には「ひたむきに」という言葉があります。私はここがとても大切だと思っています。皆さん、「挑戦」という漢字を思い浮かべてみてください。「いどむ」という字と「たたかう」という字の二文字からできています。このようなことからも分かるように、Challengeするということは、自分にとって過酷なことに立ち向かうということであり、その物事と戦うことです。戦いには勝ち負けがあります。だからChallengeすると成功することもあれば失敗することもあるということです。そこで、この「ひたむきに」という言葉は失敗してもめげずにまた挑戦しようという意味が込められているのではないかでしょうか。挑戦といっても、大きな挑戦だけが素晴らしいわけではありません。小学生だったら、授業中、自信が無いけれど、Challengeして手を挙げ、考えを発表したり、中学部の先輩に、緊張するけれど大きな声で挨拶をしてみたり、中学生だったら日々の生活で自主的に動いたりするなど、普段の生活の中でできる小さなChallengeはたくさんあると思います。小さくともその積み重ねが自分の成長に繋がり、個々が成長することで学園もどんどん明るく活気のある場所になっていくと思います。Challengeし続け、笑顔あふれる杉並和泉学園をみんなで創っていきましょう。

Communicate C

2つ目のCは「Communicate 豊かにかかわる」です。Communicateのロゴマークの真ん中にハートがあります。どうしてハートマークがあるのか、私の話を聴きながら考えていただけたら嬉しいです。

ここで、私からみなさんに質問です。朝起きてから今まで、みなさんは何人の方と挨拶をしましたか。ご家族、ご近所さん、交通指導員さん、先生、友達……。数えてみると、少ない人でも10人くらいの方々とご挨拶したのではないかと思います。このように、私たちは毎日、自分が思うよりも多くの方々と「かかわり」ながら暮らしています。

「かかわり」の豊かな学校、これが学園の素敵な特徴の一つです。開校から5年間、学園では「豊かな関わり」を重ねてきました。中でも、次の2つの関わりが特に盛んで、学園だから実現できることだと誇りに思っています。

1つ目は、小中交流です。ペア学年でのゲーム大会、行事の応援、合同委員会の開催に加え、毎日同じ給食を食べ、同じ校舎で学ぶことができるのは、杉並和泉学園ならではの「豊かなかかわり」です。

2つ目は、地域のみなさんとの交流です。地域のみなさんが学校にお越しくださり、学習のサポートや行事のお手伝いを熱心にしてくださっています。私たちも地域の行事に積極的に参加し、楽しい時間を過ごしています。地域のみなさんとの交流の輪がどんどん広がり、地域全体の仲がとても良いのは、学園ならではの「豊かなかかわり」です。

では、3ヶ月間の休校中、学園の誇りである「豊かなかかわり」は実現できなかったのでしょうか。確かに、先生、友達、地域のみなさんと直接会って関わることはできませんでした。しかし、「豊かにかかわる」ことはできたと私は信じています。なぜできたのか。それは、直接会えなくても「お互いを思う気持ち」を大切に持ち続けていたからです。「お互いを思う気持ち」さえあれば、手紙、電話、動画などを通して私たちは「豊かにかかわる」ことができる事を、休校を通して私はしっかりと実感しました。

皆さん、もう一度このロゴマークをご覧ください。真ん中にあるハートは「お互いを思う気持ち」を表しているのではないか、と感じています。

皆さんに私からお願いです。杉並和泉学園のCommunicateを実現するために、「先生、友達、地域のみなさんを思う気持ち」を大切にもち続けましょう。

Create C

学園目標3つ目のCであるCreateの意味は「新たに創造する（自分で創り出す）」ということです。

今、この杉並和泉学園は、開校して5周年です。この5年でつくられた親密な小中交流、行事への自主的、積極的に取り組む姿、地域との交流や社会貢献、これらの学園の伝統、学園たる由縁は誰がつくりあげたのでしょうか。それは卒業していった先輩方、そして僕たちです。

今の杉並和泉学園はマークにあるとおり、まだ「芽」です。ここから大きく太い幹にして、葉をつけていくことが必要です。木を成長させるには水やたくさんの栄養、そして太陽がなくてはいけません。それをつくりだしていくのは僕たちです。

仲間とのコミュニケーションを通して、何度もチャレンジし、杉並和泉学園を創造し、成長させていきましょう。

これから10周年に向けて、僕は小中交流が今まで以上に活発になり、小学部、中学部ともに学びのあるものにしてほしいです。また、行事も自分たちでどんどんとより良いものになるよう運営していく、地域とも密接に関わりあい、社会に貢献していって欲しいです。そのために、自分たちで新しいものを創造していきましょう。

創造には挑戦する勇気が必要です。

挑戦する勇気をもつには、仲間とかかわり、協力することが必要です。

これから学園と共に飽くなきChallengeし、仲間とCommunicateし、協力して、杉並和泉学園を僕たちでCreateしていきましょう。



校庭に掲げられている横断幕

小学部2年生 校外学習

2年生になって初めての校外学習。初めてのバス移動にどきどきしながら、八景島シーパラダイスに向かいました。今回の校外学習では、初めて班行動に取り組み、事前に班ごとに計画を話し合い、広い水族館内では自分たちで考えて行動することに挑戦しました。

青くキラキラと輝く水の中の生き物をじっくりと観察した子供たち。班活動を通して、昨年度よりも一回り成長した彼らの目もキラキラと輝いていました。



小学部4年生 ワークショップ

「座・高円寺」の方々と、クラスごとにワークショップを行いました。「おすし」グループと「とんかつ」グループに分かれ、グループ演技を行いました。「食べる」、「食べられる」をどう表現するか、たくさん意見を出し合い、あっという間に1つの作品を作り上げました。表現する楽しさで笑顔あふれる1時間でした。

児童の感想

- ・「“とんかつ”を演じる」と言われて、何をやろうかとなやんでいたとき、友達が“ぶた”をやるといってくれて、やってみたらとてもおもしろかったです。
- ・演技をするのは難しかったけど、考えてやるととても楽しかったです。もし自分が魚やブタだったらと思うと、こわくてかわいそうになって、ブタや魚に感しゃできました。



小学部5年生 校外学習

10月15日(木)に横浜・八景島シーパラダイスに行ってきました。館内見学のほかに、海の環境問題について、話を聞きました。「協力～周りのことを考えよう～、時間～5分前行動をしよう～、自然～環境問題について考えよう～」のスローガンを意識して過ごしました。時間前に行動することで、見学する時間がたくさんでき、自分たちで考え、行動することのよさを実感しました。ここで学んだことを学校生活や今後の活動に生かし最高学年に向かって、成長していきます。

帰校後、親児の会や地域の皆様、保護者の方々のご協力のもと、花火のプレゼントが……。雨もあがり、思い出に残る一日のしめくくりになりました。



お楽しみ花火大会

11月の行事予定



日	曜	予 定		日	曜	予 定	
		小 学 部	中 学 部			小 学 部	中 学 部
1	日			16	月	小学朝会	生徒朝会
2	月	部活動体験(6年) 小学朝会 委員会 卒業アルバム写真撮影(6年)	第三者面談(9年/5時間授業) 出張音楽教室(5組・9年)	17	火	読み聞かせ(3年)	
3	火	文化の日		18	水	CS「気づく喜び共感カフェ」 期末考査	
4	水		5組のみ午前授業 水曜手習い	19	木	放課後学習	期末考査
5	木	放課後学習	部活動体験(6年) 耳鼻科検診 第三者面談(9年/5時間授業)	20	金	和太鼓フェスティバルリハーサル(6年)	期末考査
6	金	校外学習(1年) 盲導犬キャラバン(4年)	安全指導 部活動体験(6年) 第三者面談(9年/5時間授業)	21	土	午前授業 給食なし 和太鼓フェスティバル 親子芝刈り(1年)	短縮 4時間授業 給食あり 臨時専門委員会
7	土	東京都教育の日 和泉手習い		22	日		
8	日	英検2次		23	月	勤労感謝の日	
9	月	小学朝会 クラブ 卒業アルバム写真撮影(6年)	学年朝会 後期専門委員会	24	火	小学朝会	
10	火	読み聞かせ(4年・仲よし高) 校外学習(5年)	部活動体験(6年)	25	水		水曜手習い
11	水		午前授業 期末考査一週間前(部活動なし始) 水曜手習い	26	木	自転車安全利用実技講習会(4年) 眼科(3~6年) 放課後学習	校外学習(5組)
12	木	放課後学習	合同避難訓練	27	金	社会科見学(6年)	中央委員会
13	金	集会	ブックフェア終 中央委員会	28	土	和泉手習い 図書フェス Stage	
14	土	和泉手習い		29	日		
15	日			30	月	クラブ あすチャレ! ジュニアアカデミー(5・6年)	全校朝会 専門委員会

学校支援本部コーナー

9月から朝の校庭遊びが始まり子供たちの元気な声が戻ってきました。10月からは1年生も遊べるようになりました。

朝の始業前30分間、地域のサポーターの方々が、児童が安全に遊べるように見守りと遊具の管理をしています。

芝生の上でフリスビー、クレイコートでボール遊びや縄跳びができます。新しい遊具のホッピング、一輪車や竹馬は学童入り口付近で遊べます。また、ランドセル置き場は体育倉庫前に変更しました。皆さんルールを守って安全に楽しく遊びましょう。

学校支援本部では、学園の近隣の方で始業前の7:45~8:15見守りをご一緒してくださる方を募集しています。ご協力いただける方、ご紹介いただける方がいらっしゃいましたら、支援本部までご連絡お願いします。



賀川 美紀



矢部 由美子

学校運営協議会コーナー

みなさんこんにちは。コロナ禍で心配なことや、厳しい状況もあることだと思います。しかし、そんな中でも元気に明るく生活できる知恵や工夫がメディアやインターネットなどからもたくさん提供されるようになりましたね。人間は凄いなあと思います。

さて、9月23日(水)16時30分から第4回学校運営協議会が開催されました。その中でも学園での先生方の工夫や子供たちの頑張っている様子など、先生方から交代でご報告がありました。「スポーツフェスティバル」では、保護者のみなさんのご協力で誘導担当の先生の仕事が無かったとのこと。素晴らしいですね。10月の中学校部の「体育競技会」も先生のお話を伺いながら、あとは当日の晴れを祈るばかりだなと思いました。

次に、CS主催『気づく喜び共感カフェ』ですが、チラシもできました。コロナ禍での様々な経験や工夫、疑問なども含め、みんなでお話しします。11月18日(水)15時~ご参加お待ちしております。

それから、CS連絡会(区内)出席の報告がありました。グループに分かれて意見交換などがあり、CSごとに地域性を活かしたり、独自性を持って活動したりしているところや、活動のやり方をまだ迷っているところもあるそうです。「『共感カフェ』の話は参考になりました。」と言ってくださったところもあったそうです。これからもCSの制度への理解を深め、みんなでこの仕組みを活用していきましょう。

今回の学校運営協議会は、11月18日(水)16時30分からです。傍聴ご希望の方は、統括副学園長先生まで事前にご連絡をお願いいたします。



松本 利恵

